

# 祥しやう雲うん閣かく

たより Vol.33



三月

やよい

## 弥生

三月を弥生と呼ぶのは、草木が弥生い茂る（いやおいしげる）と言葉が由来しているそうです。

※諸説あります。

暖かな春の日差しに草木が芽吹きはじめ、祥雲閣の庭園も冬から春へ季節が移り変わっていきます。

春は出会いと別れの季節でもあり、人生の節目を迎える方も多いと思います。新しいスタートが健やかで幸せでありますように。

## 祥雲閣 でお茶は いかがですか

三月を迎え、暑さ寒さも彼岸までと言われるように少しずつ春の気配を感じられるようになってきました。祥雲閣では赤い毛氈に愛らしいおひな様と桃の花を飾り、春一色のおもむきになっています。



祥雲閣では、テーブルと椅子がある立礼茶室で四季折々の美しい庭園や床の間の設えを眺めながらお茶とお菓子を気軽に楽しむことができます。

日曜日から金曜日は抹茶、土曜日は煎茶と季節の和菓子をお出ししています。

清泉幽茗流清泉会による文人華道の席飾りをご覧ください。



～春の茶室～  
つり がま  
釣 釜



茶室は季節や場面によって、さまざまに変わり、お茶をいただきながら床の間の設えを見る事も楽しみの一つです。

3月の中旬ごろになると、釣釜が掛けられます。茶室の天井にある釜蛭釘（釜を掛ける釘）に鎖や竹を使って釜をつります。

釜は細長い形のものが使われることが多く、お湯が沸き釜が揺れる様子に冬の終わりが近づいている事を感じることができます。



カレンダー

※ は休館日（変更する場合があります。）○は煎茶提供日です。

3月							4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	⑤						1	②	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	⑫	3	4	5	6	7	8	⑨	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	⑰	10	11	12	13	14	15	⑰	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	⑳	17	18	19	20	21	22	㉓	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	⑳	29	30	31				

◆◇◆祥雲閣のご案内◆◇◆

和の空間で四季折々の庭園を眺めながら

500円で抹茶とお菓子を気軽に味わえます。（10時～16時まで）

◆所在地 大崎市古川福沼一丁目2番2号

◆電話 0229-24-3385

◆交通 ・JR 古川駅から徒歩約20分、  
・車 東北自動車道古川ICより約10分

◆駐車場 有

◆休館日 月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）

◆入館料 無料



大崎市祥雲閣  
令和4年 2月22日発行  
〒989-6105  
宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号  
TEL・FAX 0229-24-3385